様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	専門学校東京工科自動車大学校
設置者名	学校法人小山学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	自動車整備科（２年制）	夜・通信	1,336 時間	80×2=160 時間	
	ｴﾝｼﾞﾝﾒﾝﾃﾅﾝｽ科（２年制）	夜・通信	1,272 時間	80×2=160 時間	
	１級自動車整備科（４年制）	夜・通信	1,336 時間	80×2=160 時間	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HP にて授業科目一覧を公開。授業科目の中で、教員の実務経験に関するチェック欄あり。（掲載：https://car.ttc.ac.jp/school/disclosure/nakano/）

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	専門学校東京工科自動車大学校
設置者名	学校法人小山学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

HP にて理事名簿を公開している。
（掲載：https://car.ttc.ac.jp/school/board-member/）

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	情報機器メーカー役員	2023.5.27 ～ 2026.5.26	工学系技術支援および先端情報の提供
非常勤	株式会社役員	2023.5.27 ～ 2026.5.26	女性活躍促進のための情報提供
（備考） 「寄付行為」第６条３項に該当する学識経験者 なお、学外者である理事は３名			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校東京工科自動車大学校
設置者名	学校法人小山学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

本校では実践的かつ専門的な職業教育を実施するために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析をおこない、教育課程（カリキュラム）の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善工夫等を含む）に活かすことを目的に教育課程編成委員会を設置している。

教育編成委員会での議論をもとに授業計画書（シラバス）を策定し、公開している。

なお、毎年６月末日に次年度入学者向けの授業計画書（シラバス）を公開する。

授業計画書の公表方法	https://car.ttc.ac.jp/school/disclosure/nakano/

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

本校では、科目の合否は原則的に履修判定試験のみでおこない、60％以上の理解度をもって合格とする。履修判定試験は「筆記試験」・「実習評価」でおこなわれるが、作品製作やレポートなどの普段の授業の中でおこなわれる提出物の評価を履修判定試験内でおこない評価することがある。その場合の評価の方法については、講義概要（コマシラバス）の中に明記される。

成績評価は履修判定試験の結果が 100 点～80 点のものを A（合格）、79～70 点のものを B（合格）、69～60 点のものを C（合格）、59 点以下のものを D（不合格）として成績評価とする。

なお、「履修時間表」に記載された卒業に必要な履修科目を全て履修した場合に卒業できる。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 履修判定試験の結果が 100 点～80 点のものを A（合格）、79～70 点のものを B（合格）、69～60 点のものを C（合格）、59 点以下のものを D（不合格）として成績評価とする。 この A～D の評価を、A＝3 点、B＝2 点、C＝1 点、D＝0 点として各科目の成績を点数化のうえ合計し、総科目数で割り指標数値を算出して各科の成績分布の指標とする。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	掲載：https://car.ttc.ac.jp/school/disclosure/nakano/
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 本校では各科ごとに卒業の認定方針（ディプロマポリシー）を策定し、公開している。 卒業においては履修時間表に定められたすべての履修科目の履修を、進級においては当該年度のすべての履修科目の履修を条件としている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	掲載：https://car.ttc.ac.jp/school/disclosure/nakano/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	専門学校東京工科自動車大学校
設置者名	学校法人小山学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年６月末に最新情報をHP上で公表している https://car.ttc.ac.jp/school/disclosure/nakano/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	工業専門課程	自動車整備科（２年制）	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	２１６２ 単位時間／単位	７７８ 単位時間/単位	単位時間/単位	１３８４ 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			２１６２単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
200 人	196 人	162 人	8 人	0 人	8 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 本校ではクラス担任制を導入しており、学習目標未達成者･欠席者に対する補講や、長期欠席者への個別指導、保護者への連絡、家庭訪問を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
１６人 (100%)	０人 (　　0%)	１２人 (　　75%)	４人 (　　25%)
（主な就職、業界等）株式会社ホンダモビリティ南関東ホンダカーズ東京中央、日産東京販売株式会社、トヨタモビリティ東京株式会社、株式会社レソリューション、東京スバル株式会社、株式会社バイク王&カンパニー、ＳＫＹ　ＧＲＯＵＰ、トヨタＳ＆Ｄ西東京株式会社			
（就職指導内容） 担任による進路希望調査、学内企業研究会の開催、履歴書作成指導、試験対策　等			

（主な学修成果（資格・検定等）） 二級自動車整備士
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
116 人	3 人	2.6%
（中途退学の主な理由）進路変更 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 中退防止を含む学生指導の窓口は、全てクラス担任が担っている。その上で、経済的困窮に関しては学務室が奨学金等の紹介を行うなどの対応を行い、心身の不調や家庭の事情に関しては、その内容に応じて科長や学務主任、副校長が個別相談を実施している。いずれの対応も、「学生指導記録データベース」によって情報を共有し、迅速で適切な対応を心掛けている。		

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	工業専門課程	ｴﾝｼﾞﾝﾒﾝﾃﾅﾝｽ科（2 年制）	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	２１６２ 単位時間／単位	７７８ 単位時間／単位	単位時間／単位	１３８４ 単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
100 人	93 人	48 人	4 人	2 人	6 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 本校ではクラス担任制を導入しており、学習目標未達成者･欠席者に対する補講や、長期欠席者への個別指導、保護者への連絡、家庭訪問を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
９人 (100%)	０人 (　　%)	７人 (　　%)	２人 (　　%)
（主な就職、業界等）日産神奈川販売株式会社、日産プリンス千葉販売株式会社、株式会社セルブスジャパン、奈良トヨタ株式会社、株式会社トムス、東京マツダ販売株式会社、㈱ｼｭﾃﾙﾝ浦和、㈱ﾄﾗｽｺﾝｵｰﾄ、株式会社Ｍ－ＴＥＣ			
（就職指導内容） 担任による進路希望調査、学内企業研究会の開催、履歴書作成指導、試験対策　等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級自動車整備士			

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
58 人	4 人	6.9%
（中途退学の主な理由）体調不良による就学継続困難、学習意欲の低下、経済的理由による就学継続困難		
（中退防止・中退者支援のための取組） 中退防止を含む学生指導の窓口は、全てクラス担任が担っている。その上で、経済的困窮に関しては学務室が奨学金等の紹介を行うなどの対応を行い、心身の不調や家庭の事情に関しては、その内容に応じて科長や学務主任、副校長が個別相談を実施している。いずれの対応も、「学生指導記録データベース」によって情報を共有し、迅速で適切な対応を心掛けている。		

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	工業専門課程	１級自動車整備科 (4 年制)		○

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
４年	昼	４２９４ 単位時間／単位	１１６２ 単位時間 /単位	単位時間 /単位	３１３２ 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
200 人	138 人	23 人	4 人	1 人	5 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【(３)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 本校ではクラス担任制を導入しており、学習目標未達成者･欠席者に対する補講や、長期欠席者への個別指導、保護者への連絡、家庭訪問を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
４７人 (100%)	０人 (　　%)	４４人 (　　%)	３人 (　　%)
（主な就職、業界等）トヨタモビリティ東京株式会社、日産東京販売株式会社、神奈川トヨタ自動車株式会社トヨタモビリティ神奈川、株式会社ホンダ東京西、株式会社ホンダモビリティ南関東ホンダカーズ東京中央、株式会社スズキ自販南東京、株式会社ホンダカーズ神奈川北、いすゞ自動車首都圏株式会社、日産自動車株式会社、秋田スバル自動車株式会社、トヨタＳ＆Ｄ西東京株式会社、南関東日野自動車株式会社、ウエインズトヨタ神奈川株式会社、株式会社関東マツダ、三菱ふそうトラック・バス株式会社　（南関東・甲信）、東京マツダ販売株式会社、㈱ｼｭﾃﾙﾝ浦和、㈱ﾄﾗｽｺﾝｵｰﾄ、株式会社スズキ自販東京、日産神奈川販売株式会社、株式会社ヤナセ東京千葉営業本部			

（就職指導内容） 担任による進路希望調査、学内企業研究会の開催、履歴書作成指導、試験対策　等
（主な学修成果（資格・検定等）） 一級自動車整備士、二級自動車整備士
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
143 人	9 人	6.3%
（中途退学の主な理由）体調不良による就学継続困難、進路変更、経済的理由による就学継続困難、学習意欲の低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） 中退防止を含む学生指導の窓口は、全てクラス担任が担っている。その上で、経済的困窮に関しては学務室が奨学金等の紹介を行うなどの対応を行い、心身の不調や家庭の事情に関しては、その内容に応じて科長や学務主任、副校長が個別相談を実施している。いずれの対応も、「学生指導記録データベース」によって情報を共有し、迅速で適切な対応を心掛けている。		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
自動車整備科（2年制）	290,000円	485,000円	620,000円	実習費、施設費、維持費、研修費
ｴﾝｼﾞﾝﾒﾝﾃﾅﾝｽ科（2年制）	290,000円	485,000円	620,000円	実習費、施設費、維持費、研修費
1級自動車整備科（4年制）	300,000円	485,000円	620,000円	実習費、施設費、維持費、研修費
修学支援（任意記載事項）				
本校では、学校独自の奨学金・授業料減免制度として成績優秀者に対して特待生制度や後援会企業奨学金制度を設けている。				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 前年度評価について、学校HPにて公開している http://car.ttc.ac.jp/school/disclosure/nakano/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者評価委員会を設置し、自己点検・評価結果に対する評価を実施する。本校教職員はその結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に努め、高度な技術の進展が著しい自動車業界を担う技術者の育成という社会からの要請に応えるよう努力する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
自営業　社長	2025/4/1～2027/3/31	卒業生
1級自動車整備科学生の保護者	2025/4/1～2027/3/31	保護者
町内会　副会長	2025/4/1～2027/3/31	地域
自動車販売会社　役員	2025/4/1～2027/3/31	企業
自動車販売会社　役員	2025/4/1～2027/3/31	企業
自動車販売会社　役員	2025/4/1～2027/3/31	企業
自動車販売会社　役員	2025/4/1～2027/3/31	企業
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 前年度評価について、学校HPにて公開している http://car.ttc.ac.jp/school/disclosure/nakano/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://car.ttc.ac.jp/school/disclosure/nakano/

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H113311400086
学校名（○○大学 等）	専門学校東京工科自動車大学校
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人小山学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期		後半期		年間	
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		25 人	（ －人）	24 人	（ －人）	24 人	（ －人）
内訳	第Ⅰ区分	14 人		12 人			
	（うち多子世帯）	（ 0人）		（ 0人）			
	第Ⅱ区分	－ 人		－ 人			
	（うち多子世帯）	（0人）		（0人）			
	第Ⅲ区分	－ 人		－ 人			
	（うち多子世帯）	（0人）		（0人）			
	第Ⅳ区分（理工農）	－ 人		－ 人			
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－ 人		－ 人			
	区分外（多子世帯）	0 人		0 人			
家計急変による 支援対象者（年間）						0 人（ 0人）	
合計（年間）						24 人（ －人）	

（備考）

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）第４条第２項第１号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第２号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0 人	0 人	0 人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0 人	0 人	0 人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0 人	0 人	0 人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	－ 人	－ 人	－ 人
計	－ 人	－ 人	－ 人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0 人	後半期	0 人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-人
３月以上の停学	0人
年間計	-人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（１）停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
ＧＰＡ等が下位４分の１	－ 人	－ 人	－ 人

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当）	0 人	0 人	0 人
ＧＰＡ等が下位４分の１	－ 人	－ 人	－ 人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0 人	0 人	0 人
計	－ 人	－ 人	－ 人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。